

令和8年中標津町議会6月定例会 一般質問要旨

通告	質問議員	質問事項・質問要旨	答弁を 求める者
1	10番 <small>むねかた</small> 宗形 <small>かずき</small> 一輝	<p><b>1 基幹産業と町民生活を守るため町有林の整備を</b></p> <p>昨年12月の暴風雪による影響で、町有林の倒木で停電や道路が塞がれ、基幹産業である酪農の生乳運搬をはじめ、町民生活に大きな影響が生じた。今後の災害被害を最小限に抑えるため、町有林の危険箇所を把握し町有林の整備を早急に進めるべきでは？</p>	町長
2	11番 <small>えぐち</small> 江口 <small>ともこ</small> 智子	<p><b>生命（いのち）の安全教育を子どものセーフティネットに</b></p> <p><b>1）生命（いのち）の安全教育への取り組み状況は</b></p> <p>SNSや生成AIの広がりにより、子どもが性犯罪をはじめとする犯罪の被害者・加害者となるケースが増えている。国では「生命（いのち）の安全教育」を全国の学校で実施するとしているが、本町の取り組み状況は？</p> <p><b>2）ネットリテラシー教育の推進を</b></p> <p>子どもがSNSや生成AIを積極的に使用する一方で、保護者や教員等、指導する側の理解が追いつかない場合も多い。当町でも保護者を含めたネットリテラシー教育に取り組むと、3月の予算審査特別委員会で答弁されたが、現在の取り組み状況は？</p>	教育長
3	4番 <small>ながぶち</small> 長渕 <small>ゆたか</small> 豊	<p><b>道路沿線木の事後復旧型から予防保全型への管理体制を</b></p> <p><b>1）倒木によるリスクの把握等は</b></p> <p>近年、記録的な暴風雨や暴風雪、湿った大雪などの倒木で停電や通信障害が発生し、住民生活や地域経済に影響を及ぼしている。また、被害の長期化も懸念される中、倒木によるリスクや危険箇所をどのように把握・評価し、対策に反映しているのか？</p> <p><b>2）危険木への事前対応の考えは</b></p> <p>倒木による停電や通信障害は、住民生活や酪農経営に深刻な影響を及ぼす恐れがある。被害発生後の対応だけでなく、危険木の予防伐採や枝払いなどの事前対策を強化し、災害を未然に防ぐ取り組みをどのように進めるのか？</p> <p><b>3）関係機関との情報共有体制は</b></p> <p>倒木被害を防ぐためには、電力会社や通信事業者、道路管理者など関係機関の連携が重要である。管理主体が異なる中、危険箇所の情報共有や合同点検など、災害に備えた連携体制をどのように構築していくのか？</p> <p><b>4）予防保全型への管理体制は</b></p> <p>近年の異常気象により、倒木による停電や通信障害のリスクが高まっている。災害発生後に対応する事後復旧型から、危険箇所を事前に把握し対策を講じる予防保全型へと道路沿線木の管理を転換すべきでは？</p>	町長

令和8年中標津町議会6月定例会 一般質問要旨

通告	質問議員	質問事項・質問要旨	答弁を 求める者
4	1 2 番 <small>たかはし よしきだ</small> 高橋 善貞	<p><b>マイマイガ大量発生の対策を</b></p> <p><b>1) 今年的大量発生前に対策の周知を</b></p> <p>現在、マイマイガは2～5mmの幼虫（毛虫）だが、これから一か月半にわたり樹木の葉や菜園、特にカラマツの葉などを食い荒らしてから蛹になり羽化（成虫）する。注意すべき事項を住民周知すべきで、現在の幼虫は「皮膚炎」の原因となることを大きく取り上げるべきでは？</p> <p><b>2) 公共施設外灯を蛾を寄せ付けないLED化に</b></p> <p>道路照明灯（街路灯）がLED灯に改修された効果もあり、マイマイガは街路灯に群がらない。一方で、LED化されていない公園や公共施設の外灯に異常な数が群がり、周辺の住宅の壁に卵を産み付けるなど、過去に例のない苦情があった。公共施設の前庭や駐車場などの外灯をLED化することは喫緊の課題では？</p> <p><b>3) 今後の大量発生を見越した街路樹・公園樹木等の防虫対策が必要では</b></p> <p>近年の異常気象による温暖化や街路灯のLED化が原因で、分散していたマイマイガが水銀灯・蛍光灯に集中して群がるようになってきている。将来にわたり街路樹・公園樹木・公共施設の前庭など防虫対策を要するが、機材がない現状でどのような対策を講じるのか？</p>	町 長
5	8 番 <small>さくま こ</small> 佐久間 ふみ子	<p><b>不登校支援強化の取り組みを</b></p> <p><b>1) 校内空教室を活用した校内教育支援室の設置を</b></p> <p>自分の学級に入りづらさを感じている児童生徒に、学校内で落ち着いた空間の中で自分にあったペースで学校生活を過ごせる環境があると、学習の遅れや不安も解消され、早期に意欲を回復する効果が期待される。校内教育支援教室を設置すべきでは？</p> <p><b>2) メタバースを活用した「第三の居場所づくり」の導入を</b></p> <p>不登校の子どもたちは、学校や家庭に居場所を感じられず、孤立しやすい状況に不安を抱えている。メタバース上に匿名で参加できる交流スペースや相談窓口を設け、まずは「つながる」ための初期接点を確保して、子どもたちが安心して参加できるメタバースを活用した「第三の居場所」を導入すべきでは？</p> <p><b>3) 不登校支援ガイドブックの作成を</b></p> <p>不登校の子どもを支えるためには、保護者が必要な情報や相談先を把握し、適切な支援につながる事が重要である。今後、保護者の視点にたった支援ツールとして、「不登校支援ガイドブック」を作成・配布し保護者支援を充実すべきではないか？</p>	教育長
6	1 5 番 <small>まつむら やすひろ</small> 松村 康弘	<p><b>1 災害時要援護者を実効ある対応体制の構築を</b></p> <p>千島海溝巨大地震などの大規模災害に備え、高齢者や障がい者など要援護者への支援体制の強化が求められている。 町内会の担い手不足や組織率低下が進む中、地域住民の力を生かした新たな共助の仕組みをどのように構築するのか？</p>	町 長

令和8年中標津町議会6月定例会 一般質問要旨

通告	質問議員	質問事項・質問要旨	答弁を 求める者
7	9番 松野 美哉子 <small>まつの みやこ</small>	<p><b>1 格子状防風林をシティプロモーションの戦略に</b></p> <p>北海道遺産である格子状防風林は、農地や暮らしを守るため先人たちが築き上げた貴重な地域資源であり、本町を象徴する景観である。この魅力や歴史的価値を生かし、観光振興や情報発信による地域ブランド力向上をどのように進めるのか？</p>	町長
8	3番 栗栖 陽介 <small>くりす ようすけ</small>	<p><b>子どもの主体的な学びと地域の担い手育成につながる「ラーケーション」の研究を</b></p> <p><b>1) 学校外での「子どもが主体となる学び」の教育的価値を</b></p> <p>子どもが自ら学ぶ場所や内容を計画し、地域産業や歴史、文化などを体験的に学ぶことは、主体性や探究心を育む機会になると考える。教室内だけでは得られない学校外での体験的な学びの価値をどのように捉えているのか？</p> <p><b>2) 学びの質の担保と学習の影響への対応を</b></p> <p>学校外での自主的な学びを広げるためには、学習効果を高める仕組みづくりが重要である。事前計画や体験後のレポート提出による学びの質の確保と、授業を離れることによる学習への影響をどのように考えているのか？</p>	教育長
9	13番 佐野 弥奈美 <small>さの やなみ</small>	<p><b>職員の定着促進と働き続けたい職場づくりを</b></p> <p><b>1) 若手職員定着と中途退職防止及び人材育成の取り組み状況は</b></p> <p>人材確保が難しくなる中、安定した行政運営には職員の定着と人材育成が重要である。若手職員や中途退職者の離職理由を分析し、成長機会の創出や相談体制の充実など、働き続けたいと思える職場づくりにどのように取り組むのか？</p> <p><b>2) 働き方改革と業務効率化の推進を</b></p> <p>職員数が限られる中、多様化する行政課題に対応するためには業務の効率化が求められている。DXの推進や業務の見直し、仕事の属人化解消などにより、限られた時間で効果的に働ける環境をどのように整備するのか？</p> <p><b>3) 住民対応における職員を守る体制整備を</b></p> <p>住民サービスの向上は重要である一方、長時間の苦情対応や過度な要求が職員の精神的負担となる場合もある。安心して業務に取り組めるよう、若手職員を含めた職員を守るための支援体制をどのように整備していくのか？</p>	町長